



特定非営利活動法人 なんとなくのにお 通信

URL <http://www.nantonakuno.net/>

Mail [info@nantonakuno.net](mailto:info@nantonakuno.net)

## ボランティアフェスタ・2019

日光ボランティア・市民活動フェスタ2019が9月7日(土曜日)に開かれました。日光市今市文化会館、中央公民館(中ホール、小ホールなど)、勤労青少年ホーム、例年と同じ会場に、たくさんの団体が活動紹介や模擬店などで参加しました。(以下のサイトをご覧ください)

<https://www.facebook.com/Nikko.Bora.Fes/>

NPOなんにわは、ふだんの活動を紹介するコーナーを作り参加しました。報徳今市振興会館、川むしたんけん隊、子どもの居場所などの写真を展示、振興会館の風景をノートPCでスライドショー、創刊号から第56号までの通信「ひろば」やパンフレットも展示しました(右上写真)。

小冊子「不登校と教育機会確保法Q&A」(発行:登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク)を手にとった方からは、入手する方法を質問されました。地味な展示でしたので、立ち止まってじっくり見てくれる人は少なかったのですが、来場者と「不登校の子どもたちへの支援」について話す機会が作れたのはよかったです。

今回はSNS発信によってフェスタ参加者が増えたと聞いています。ネットへの画像や動画の掲載は、経験もなくやり方もわからず、敬遠してしまいがち。ふだんの活動はともかく、このようなイベントのときは、積極的な発信を考えてもよいのかなという感想を持ちました。(手塚)

↓中央公民館・小ホールの様子



なんにわ紹介の展示 中央公民館小ホールにて

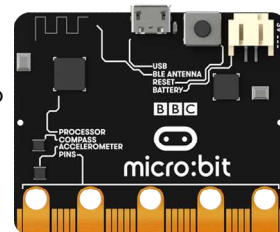
今年も参加します!

### こども・ワカモノフェスタ 2019

2019/12/1 (日) 午前10時30分~午後5時  
栃木青少年センター アミックス (詳しくは2ページ)

去年は「ワイヤレス送電キット」で参加しましたが、今年はこれ⇒micro:bit というプログラムできる小さなコンピュータで遊びます。

「いちごジャム」や「ラズベリーパイ」など、小型コンピュータをあれこれ買い込んで調べてきましたが、子どもも扱いやすく、頑丈にできているPCです。開発環境はインターネットに接続できるパソコンがあればOK。「スクラッチ」のように画面にブロックを組み合わせてプログラムを作り、USB経由でボードに書き込めば、すぐ実行できます。言語設定を日本語に変更し、日本語表示ブロックも使えるけれど、英語版のままです。アイコンのそばに英単語が表示されているので、Duplicate、Delete など、プログラムの動作を考えながら、英単語まで覚えることができますよ。より高度な小型コンピュータとセンサ、モータを組み合わせた自動制御倒立振り子も作成中。乞うご期待!



## 目次

ボランティアフェスタ 2019	1
原発事故と市民の健康	2
こども・ワカモノフェスタ (告知)	2
活動報告	3
全国若者・ひきこもり協同実践交流会	3
こんな本はいかが・47	4

## 居場所のひとつ

月に1度の「つくって食べよう！」(なぜか8月は2回ありました)この頃は毎月最終金曜日ということになっています。数日前から「メニューはどうしよう?」と、なんとなく決まるというパターンです。その日に集まってから決まることもあります。10月はたこ焼き。工夫した味付けで、おいしく焼きました。(N)





## 原発事故と市民の健康

-ICRP新勧告案と関連データを読み解く- 講師:濱岡豊 (慶応大・教授)  
宇都宮大学 国際学部附属 多文化公共圏センター

原発震災に関する研究フォーラム 主催 公開講座 9月14日(水)

表題の公開講座に参加しました。統計学の基本から始まり、広島・長崎の被爆調査に関する具体的なデータを示した分析手法についての説明、さらに福島甲状腺検査「とりまとめ」の問題点の指摘がありました。再分析可能な形でデータを公表せず「放射能の影響なし」とする検討委員会の姿勢に疑問を感じます。後半はICRPという放射線防護に関して大きな影響力を持つ国際委員会勧告の改訂についての解説でした。

原発事故後、学校や市役所内、日光市主催「放射性物質と健康を考えるシンポジウム」などで意見を求められる機会があり、「長期汚染の状況には住民と地域の専門家として行政が協力して関わるべき」と求めるICRP勧告「Publication 111」は発言するうえでとても助けになりました。その内容が後退してしまうのではという危惧があります。詳しくは濱岡先生が公開しているブログに詳しく書かれています。興味のある方はぜひご覧ください。 <https://nonuke2011.blogspot.com>

講座終了後、原子力市民委員会(第1部会)が開かれ、意見交換会の場で本会代表として、日光市での体験を話す機会をいただきました。その内容を右欄に要約しました。後半、「子どもたちに放射能対策をどう伝えていくか」という話を付け加えたのですが、紙数が足りませんので、次号に掲載します。(環境研究班・手塚、三上)

【はじめに】日光市周辺、地上高1mの空間線量は0.10~0.15  $\mu$  Sv/h。日光市今市の市街地にある自宅(木造)は1階、2階ともほとんど変わらず0.12  $\mu$  Sv/h、道路に面した玄関先は0.15  $\mu$  Sv/hである。環境省によると、屋内では半分以下に低減するなどの理由で一日の被ばく量が見積もられているが、この推定が実態に合ったものなのか疑問に思う。地表からの深さ5cmの土壌に含まれるCs137濃度(ほとんどが福島原発事故由来)は地域によって大きく異なり、300~2000 Bq/kgである。

【食品の放射能測定・甲状腺検査】日光市の市民向け食品放射能測定は2012年春から実施。2019年9月に行われた日光市主催「放射性物質と健康を考えるシンポジウム」での市民からの意見を受け、2013年には市健康福祉部が行う甲状腺検査、内部被ばく検査が実現することになった。

【土壌の放射能測定】日光市環境課との交渉により、2014年より市民採取土壌の放射性セシウム濃度測定が実現した。しかし、測定対象について多くの制約が環境課より提示され、連携は半年ほどで終了。独自の測定器で測定を続けている。

【バイオマス発電所建設計画】2014年、県内業者が日光市栗原地区に木質バイオマス火力発電所の建設計画を発表。地元住民に放射能汚染などの不安が広がった。業者が提出した放射能対策やデータは不十分で、住民の納得は得られなかった。放射能汚染を想定した規制がないことから、開発許可申請手続きを従来どおり受け付けるなど、日光市は住民の放射能の心配への配慮が不足していた。その後、バイオマス発電計画は「電力会社の都合で中止」となったが、業者は木材チップ工場への転換などを計画し、住民の懸念は解消していない。

学校のことで悩んでいるみなさんへ

# こどもワカモノフェスタ 2019

Youth fest 2019 in Utsunomiya

「こどもワカモノフェスタ」は誰もが安心していられるみんなのための居場所を目指しています。学校や家以外でも、みんなが安心できる場所は必ずあります。さあ、いっしょに探してみよう!

日時 2019.12.1 日 10:30~17:00

場所 とちぎ青少年センター アミークス  
宇都宮市駒形1丁目1番6号

参加費 中学生以下無料  
高校生以上 前売り300円 当日500円

主催 こどもワカモノフェスタ実行委員会

後援 一般社団法人栃木県青年会連 後援 一般社団法人栃木県青年会連後援機構

## プログラム

### こどもカイギ 10:30~

小中高生とコーディネーターだけが出入り自由な空間、子どもカイギ。学校について、家族について、フリースクールについて、居場所について、子ども達が大人の目を忘れて、子ども達だけで話し合う場です。本音でなんでも話しちゃおう?

### トークイベント 「不登校に対する教員の本音は?」 13:00~

ゲスト: 学校教員数名 ※調整中  
生き方や多様性をさげられる現代社会で、学校現場は遅れていると言われるが。ただよく現場の先生方にお話を聞くと、知らない事実も多くありました。学校現場でがんばる先生方に、その想いを伺っています。

### フリースクール説明会 & 体験 説明会 11:00~ 体験 12:30~

不登校の子を持つお父さんお母さん、フリースクールってご存知ですか? 学校に代わって、人と関わり、学べる場。一人ひとりのペースに合わせて、一緒に歩むスタッフがいます。お子さんの外への一歩を探している皆さんはぜひこちらへ

- 小山フリースクール みるたの家 (小山市)
- デモクラティックスクール つながるひろば (栃木市)
- フリースクール ミスター (宇都宮市)

### 大人カイギ 15:00~

不登校のお子さんを持つお母さんを中心に、親同士で、不登校のことや学校のことや家族のことなど、相談し合う場。ひとりでは考えなくて大丈夫。お父さんお母さん、自分を責めなくて大丈夫。一緒に考えていきましょう。

### お楽しみコーナーもあるよ!

- 小さなお子さんでもできちゃう! 新聞ちぎり絵講座
- 子どもだってメイクをしたい! 高校生によるメイク講座
- 日々のストレスをここで発散! レスリング体験
- 世の中にはわからないことがいっぱい? 科学実験コーナー
- アナログゲームでみんなで楽しもう! ボードゲームコーナー
- 楽器と声で奏でるハーモニー! 音楽ライブ
- カレーや焼きそばの教室もあるよ!

### 会場へのアクセス

会場: とちぎ青少年センター アミークス

お車で: 東北自動車道宇都宮インターより9.0km、圏道インターより9.5km 大粒駐車場あり

バスで: JR宇都宮駅東口より「圏道バス(作新学院前)行き(往: 湯里駅)」「宇都宮駅東口より「圏道バス(作新学院前)行き(往: 湯里駅)」「東武宇都宮駅より「圏道バス(作新学院前)行き(往: 湯里駅)」

### 前売りチケットの購入方法

下記いずれかの方法で、チケットを予約もしくはご購入ください。

- 下記連絡先へ本番前日までに連絡し予約する(前売り扱いになります)。ご連絡の際は、お名前、連絡先、チケット枚数を忘れずにお伝えください。
- 実行委員が直接チケットを購入する。

### お問い合わせ

こどもワカモノフェスタ実行委員会  
実行委員長 土橋優平  
TEL 080-1853-6296  
メール waka11@gmail.com

みんなの参加も待ってまよ!

- 7月24日(水) 通信「なんとなくのひろば・第56号」発行
- 7月28日(日) 子ども中心の学びの時代へ～なぜ、教育機会確保法が必要なのか～ 講師：奥地圭子さん
- 7月28日(日) ベリー会 月例会
- 7月31日(水) 斎藤教育長との会見
- 7月31日(水) ボランティアフェスタ打ち合わせ会(1)
- 8月2日(金) つくって食べよう(フルーツポンチ&ゼリー)
- 8月11日(水) ワカモノフェスタ実行委員会
- 8月18日(日) ベリー会 講演会
- 8月21日(水) ボランティアフェスタ打ち合わせ会(2)
- 8月23日(金) つくって食べよう(サンドイッチ)
- 8月25日(日) 全国若者ひきもり協同実践交流会「家族でできること、家族だからできること」 8月6日、男体山にかかった入道雲。
- 9月7日(土) ボランティアフェスタ参加
- 9月8日(日) ワカモノフェスタ実行委員会
- 9月14日(月) 原発事故と市民の健康-ICRP新勧告案と関連データを読み解く-
- 9月23日(月) ワカモノフェスタ実行委員会
- 9月27日(金) つくって食べよう(ジャガイモチーズ焼き)
- 9月29日(日) 「私たちの暮らしを考える会・第1回勉強会」参加
- 9月29日(日) ベリー会 月例会
- 10月7日(月)/20日(日)/28日(月) ワカモノフェスタ実行委員会
- 10月12日(土) 川むしたんけん隊(小代・行川)・台風19号のため中止
- 10月25日(金) つくって食べよう(たこ焼き) 「川むしたんけん」の予定地(小代、行川庵近く)。荒天のため残念、来春にまた企画します。



## さくらそう関連の勉強会など

- ・2019年度日光市相談支援専門員連絡会 7月24日(水) 振り返り/8月28日(水) 懇談/  
9月25日(水) モニタリング頻度/10月11日(金) 訪問看護
- ・2019年度県西圏域相談支援事業者等連絡会  
7月12日(金) 人はひとりでは生きられない 畠山由美氏(認定NPO法人だいじょうぶ)  
10月11日(金) 精神・発達障害者 しごとサポーター養成講座
- ・2019年度日光市障害者自立支援協議会 事例検討会議 8月8日/9月12日/10月10日(木)  
9月10日(火)～11日(水) 強度行動障害支援者養成研修

## 第15回 全国若者・ひきこもり協同実践交流会 in とちぎへの2nd イベント 2019年8月25日(日)

### 「家族にできること、 家族だからできること」に参加して

さくら市在住の心理カウンセラー、野澤かなえさんの講話がありました。野澤さんは、さくら市で「とちぎねいろ」というカウンセリングルームの代表をしています。産院の看護師さんでもあり、3人のお子さんのお母さんでもあります。長女の不登校をきっかけに、心理学を学び、心理カウンセラーになったそうです。

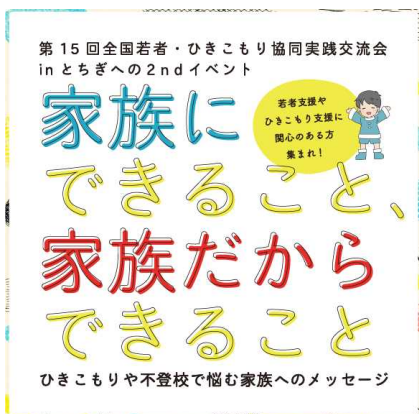
お子さんが不登校になったとき、子どもを受け入れたい

気持ちと学校に行けるようにしなければという気持ちの葛藤がとても辛かったことを生々しく語ってくれました。そして、学校に行かなくても幸せな大人になっている人との出会いがあり、学校とは違う居場所も見つけたといいます。「自分は自

分でいいんだ」という思いにたどり着くまでの道のりが、野澤さんの切実な実感を伴って語られました。

苦しい時を超え、笑顔になれたポイントは、辛く許せない気持ちを自分で許すことだったといいます。たくさんの人との出会いを通して、自分らしい子育てを模索し、子どもから自立していったそうです。「肯定的に見放す」という言葉が印象的でした。親の役割は子どもを保護するというより、応援者であり続けることだと言っていました。私も同感です。

私たちのなんとなくのにも、不登校の子どもたちや保護者であるお母さんたちを応援し続ける居場所でありたいと願っています。(白井)



### 子育て・親育ちの茶話会

場所：子どもの居場所(日光市平ヶ崎)  
日時：毎月第2月曜日(午前10時～12時)  
次回の予定はお問い合わせください。  
参加費：300円(お茶代)

同じ悩みを持つ親御さん同士、気持ちを許し合って、情報や悩みを分かち合しましょう。「一人で悩まず、みんなで!」を合い言葉に。(Tel: 090-3227-7079)



特定非営利活動法人 なんとなくのにな通信

〒321-1261 栃木県日光市今市378  
電話 090-3227-7079 / email: info@nantonakuno.net  
ホームページ <http://www.nantonakuno.net/>



## 私たちの活動目的：

日光市とその周辺地区に居住する子どもおよび青少年等に対して、学習や自立のための支援活動と地域への啓発活動を行い、社会に出た後も継続性のある、支援と学びの場を作り出します。

## 私たちの事業：

- ① 子どもたちの自主性および自立性を尊重した居場所の提供および学びの場の運営
- ② 子どもたち一人ひとりに対応した、新たなカリキュラムや学習内容の開発
- ③ インターネットなどのIT環境を活用した学びの支援
- ④ 教育についての相談や情報提供活動
- ⑤ 学校外で育つ青少年の自立に関する相談および就労を支援する活動
- ⑥ 自然環境の中での学びを作り出し、自然環境保全の大切さを啓発する活動
- ⑦ 障がいの理解および啓発に関する企画運営事業
- ⑧ 第二種社会福祉事業の相談支援事業経営

## こんな本はいかが？ その47: **三体** 早川書房 (2019/7)

著:劉慈欣、監修:立原透耶、訳:大森望、光吉さくら、ワン チャイ

SF永遠のテーマ、地球外生命との出会いを描く中国発の長編小説。早川書房の宣伝文句によれば「本国版が合計2100万部、英訳版が100万部以上の売上を記録。翻訳書として、またアジア圏の作品として初のヒューゴー賞長篇部門に輝いた、現代中国最大のヒット作」である。

ハッブルが宇宙膨張を発見したのは1929年。ラヴクラフトが「この世界と異なる、どこか外から訪れた存在」がもたらす恐怖を描いたのが1930年ごろ。天文学が明らかにした宇宙が小説の舞台となり、友好的な異星人との交流、狂暴な生命体による地球侵略...などなど、いまや多くの作品がSFという手法で描かれている。今年公開のゴジラ映画は、地球に害を及ぼしている人類を滅ぼすため、キングギドラを復活させる「環境保護団体」が黒幕。「地球環境保護のため人間は退場」と、本気で行動を起こす人がいるのだろうかという疑問はともかく、「三体」にも人類に絶望した科学者が偶然みつけた地球外文明にコンタクトを取り、救いを求める場面がある。卓越した宇宙文明に人類が飲み込まれる「幼年期の終わり」(アーサー・C・クラーク 1953年)は、物語展開のうまさで納得させられてしまうが、「三体」もこの流れなのだろうか。「多様性を認めよう」という今、このテーマはもう流行らないかもしれない。「三体」は3部作のまだ第1巻。いままでと次元の異なる「ファーストコンタクト」を用意しているのだろうかを期待する。

SFを読む楽しさのひとつは、科学で脚色され作者が作り上げた小道具、大道具を頭に描きその場の場を思い描くことである。目新しい機械仕掛け満載のこのお話は、その点でもおすすめできる。

本原稿を書いている間にも「Googleの量子コンピュータが既存のスーパーコンピュータで1万年かかる計算を200秒で完了」とのニュースが流れる。現実がSF化しているこの頃である。たまには実際にはあり得ない「本格SF」をぼんやり読んでみるのもよい。中国での出版は2008年。その後、韓国語2013年、英語2014年、ヨーロッパ、ロシア語2015年、ベトナム、タイ語2016年、そして日本語訳がやっと今年になって完成したこの小説。第2部日本語版が楽しみだ。(手塚)

## 会員について

正会員：57  
賛助会員：19  
団体会員：4  
入会金なし  
年会費(一口)  
正会員 3,000円  
賛助会員  
個人 5,000円  
団体 10,000円



私たちの活動は会費と寄付金でまかなわれています。会員継続、応援をよろしく願います。会員は新たな事業の提案、会の事業の運営などに直接かかわることができます。みなさまの積極的な参加をお願いします。

## なんとなくのへや

シュタイナーは1861年生まれ。神秘思想に傾倒し人智学を展開した哲学者・教育者として知られています。「多様な学び」のひとつの選択肢と考える人も多い「シュタイナー教育」の創始者です。7月に開かれた「なんにわオープン勉強会」で講師の佐藤さんによる「人智学」の紹介があり、その中でシュタイナーの「父親は通信技師」という点に興味を持ちました■シュタイナーが生まれたのは、17世紀から積み上げられてきた「科学」が電磁気学などでバージョンアップされ、量子論建設に向かおうとする頃です。それまでの科学は力学や化学反応など目に見えるものを対象としてきました。ところが19世紀後半、「電磁波」や「放射線」など人の五感では捉えることのできない現象が次々と発見されたのです。工夫を重ねた測定技術によってその性質がしだいに解き明かされ、理論的枠組みの建設が始まっていました■通信に使われる電波は人の目には見えません。その性質を理解し役立てるのが通信技術です。今でいえばシステムエンジニアやインターネット技術者のような位置に当時の鉄道通信技師は立っていたのでしょうか。先端技術エキスパートの父親からシュタイナーはどんな影響を受けたのか。そんなテーマで歴史をたどるのも面白いかもしれません。(T)